



ふるぼう知生の

「古ちゃん'Sレポート」

第11号

桜が咲いて春爛漫。お元気でしょうか。議会では2月19日から3月26日まで第一回定例会がありました。今回は予算特別委員会も行われましたので、その報告をさせていただきます。

今定例会も一般質問をさせていただきました。教育について時間を使いましたが、詳細は次のページに書かせていただきましたのでご覧ください。

新政権になって天下り禁止や税金の無駄遣いに対する徹底的な見直しが行われていることは大変歓迎すべきことだと思いますが、どさくさに紛れて、せっかくあるべき方向に見直しが進められてきた教育改革が途中で頓挫することになるのは許してはおけないという思いで、公教育の更なる充実という観点から質問をしました。総じて言えば、区長というよりは教育長との対決という一般質問でした。

予算委員会では、財政の厳しい中、選択と集中をどのようにするかということによって、各党各会派の意見が分かれたのですが、私は時代に合った予算のあり方、そして当然のことながら、身の丈に合った予算とは何かを求めながら、議案の議決に臨みました。

平成22年3月28日

豊島区議会議員 古坊 知生

一般質問をしました。(2月24日：本会議にて)



「公教育の更なる充実を目指して」

【一般質問の要旨】

1. 教育格差について

問：教育格差についてどのように認識しているか。またその克服のためにどのような対策をとっているか。

答：機会均等の精神に基づき、家庭の状況にかかわらず、すべての子供たちに

確かな学力を身に着けさせることが公教育の使命である。土曜補修としまアカデミーや各学校における補修の充実を図り、教育格差の払拭を図る。

問：公立学校の全てに電子黒板を配置した。教師力向上のために、あるいは学びがいのある授業の確立のために、利用促進対策をどのように考えているか。

答：運用指針を定め、各学校に示すと共に、優れた実践事例を集め、活用事例集としてまとめている。ICT支援員の配置を増やし、側面からも支援する。

問：教師と生徒の信頼関係が学力向上にも、人間力向上にもつながる。情熱と愛情をもった教師を多く育成するための区の取り組みは？

答：優れた指導技術を有する名人先生による公開授業、指導主事や退職校長による授業づくりへの指導、助言を行っている。豊島区独自の教師育成プログラムを重点施策に位置付け、実現に努める。

問：平成22年度より学力テストの方式が全員参加型の悉皆方式から、3割程度の学校を抽出して行う抽出方式に変更となるが、教育の機会均等の精神に反する。全学校で行われるように豊島区が支援をしてほしい。

答：区独自の学力調査を拡充し、小学校3年生から中学校3年生までの全員を対象として来年度より実施する。実施教科も英語を含めた6教科に拡大する。

2. 家庭教育について

問：家庭教育が教育の根本である。家庭教育の支援のため、より充実した教育講座の開催を求む。講師としては、経験と実績のある大畑誠也氏を紹介する。

答：高い見識をもつ教育関係者による講演をPTAとも連携をしながら企画実施するよう努力して参る。

《歳入》

《歳出》

特別区交付金 280億円 (29.2%)	福祉費 349億2700万円(36.4%) 		総務費 134億4800万円(14.0%) 	
特別区税 274億9300万円 (28.7%)	教育費 72億3300万円(7.5%) 	都市整備費 63億7800万円(6.6%) 	土木費 63億3100万円(6.6%) 	
国庫支出金 168億6900万円 (17.6%)	公債費 59億1800万円(6.2%) 		清掃環境費 46億8600万円(4.9%) 	衛生費 29億6600万円(3.1%) 
都支出金 58億6300万円 (6.1%)	文化商工費 24億6700万円(2.6%) 		議会費 6億2200万円(0.6%) 	
地方消費税交付金 39億5100万円 (4.1%)			諸支出金 107億9500万円(11.3%) 	
その他 137億7800万円 (14.4%)				

古ちゃん'S チェック

平成22年度の予算は、8年ぶりに900億円を超える規模となりました。子ども手当の支給や生活保護費の増加等によるものです。景気の低迷により26億円程度の財源不足が生じましたが、財政調整基金から14億円の繰り入れを行うなどの財源対策を講じました。しかしこれまでの行政サービスの水準は低下させないという方針のもとに編成した予算であるとしています。

また、区民生活に身近な福祉施策の充実、子育てや教育などの次世代育成支援、地域の安全・安心の確保を基本とし、引き続き文化と品格を誇れるまちづくりと環境に配慮した都市の創造を目指す予算だとしています。予算委員会を傍聴し、全てに納得というわけではありませんが、「身の丈に合った財政」という最低要件を備えており、予算案には賛成を表明しました。

なお、豊島区は2012年に区制施行80周年を迎えます。その節目の年に向けて、日本一の高密都市ならではの“安全文化”の姿をつくりあげるため、WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターが提唱する「セーフコミュニティ」の認証取得に取り組むことを宣言しました。皆さんと一緒に、日本一の安全安心な街、豊島を目指したいですね。

【会派により意見が分かれた主な議案・請願・陳情と議決の結果】

22陳情第 1号：憲法違反の外国人参政権 による選挙を実施しないことを再確認する陳情→不採択

(私は採択すべしと主張しました。)

22陳情第 2号：永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める陳情→不採択

(私は採択すべしと主張しました。)

【議員提出議案】

第2号：高齢者が安心して受けられる介護保険制度の実現を求める意見書→可決 (自民党は反対)

第3号：子ども手当財源の地方負担に反対する意見書→可決

第4号：教員免許更新制の存続を求める意見書→可決

第7号：教育公務員特例法の早期改正を求める意見書→可決 (あまりにも政局がらみなので私は棄権しました)

第8号：永住外国人の地方参政権の早期法制化を求める意見書→可決 (私は反対しました)

第9号：障害者自立支援法の応益負担の廃止及び障害者施策の充実を求める意見書→否決

【他の議案】第34号議案：豊島区副区長の選任について→賛成多数で水島正彦副区長の再任が決定しました。

【都市整備委員会等の報告】

2月26日の視察



「豊島区自立自転車等駐輪場条例の一部を改正する条例」 議案の審査のため現地視察



「椎名町駅周辺の安全に関する陳情」 陳情の審査のため現地視察



・西葉鴨中学校の授業視察



・平成22年度予算案説明会



・都電沿線にバラを植樹

ふるぼう知生後援会事務局：〒170-0005 豊島区南大塚 2-24-5-201 TEL&FAX：6801-7909

http://furubou.com E-mail:t-furubou@adagio.ocn.ne.jp 会派：刷新の会 TEL 3981-1276